

## 自分がぼけていたか

歯医者、吉田さんの奥さん、僕を、「坊ちゃん、坊ちゃん」と言って、懇切丁寧に取りはからってくれる。

ちっちゃくて、ポチャポチャして、いつも、ニコニコ顔の、若い奥さん、まだ、二十二、三かな。

僕が小学校五年の時は、先生はまだ独身だった。

その頃からの知り合いだということ、奥さんは僕を大切にしてくれる。

「大切な人の、親しい人は、自分の親しい人」の原理か。

今日で歯医者はおしまい。  
二日間でOK。

「早く行くと、それだけ簡単に済んでいい」と思った。

帰りは、今度は、奥さんから、

「便利なバスがある」と教えてもらう。

表の道まで、丁寧に見送る奥さん、本当にいい人だ。

三条京阪行きの京都バスを待つ。

予定時間より三分早くバスが来た。

これは、間にあつた僕には便利だけど、時間かっぴりに来た人には、かわいそうだ。